

第4編 計画の推進体制

1 市民・事業者・行政の役割

本計画で掲げる目標の達成には、市民・事業者・行政の各主体が取組の方向性及び、それぞれに求められる役割を理解し、行動に移すことが必要です。また、各主体の連携による、協働の取組における役割を果たすことも重要となります。

市民の役割

●1人ひとりの役割



●協働の役割

- ・日々の暮らしの中で、ごみ減量や分別に取り組みます。
- ・使い捨て製品を削減し、繰り返し使用可能な商品を選択するなど、再使用に努めます。

- ・地域の一員として、ステーションの管理や町内の美化活動等へ積極的に参加します。

事業者の役割

●生産者、排出者としての役割



●協働の役割

- ・生産者(販売者)として環境負荷の少ない生産・流通に努めます。
- ・事業活動に伴うごみの減量・資源化及び適正処理に努めます。

- ・地域の一員として、地域活動への積極的な参加とともに、行政と協力し、取組の仕組み作りを行います。

行政の役割

●施策・取組の推進



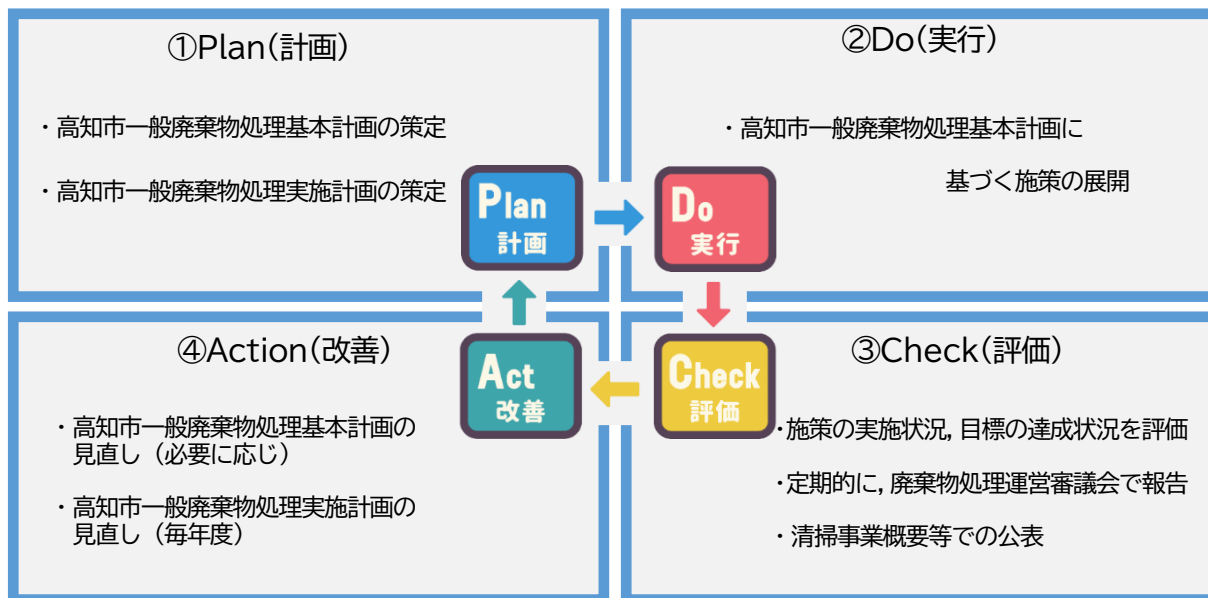
●協働の役割

- ・市民や事業者に対する、普及啓発や情報発信を行います。
- ・環境教育を通じ、持続可能な社会の担い手を育みます。
- ・社会状況の変化に応じ、必要な公共サービスを提供します。
- ・収集運搬・中間処理・最終処分の安定的な体制を整備します。

- ・市民・事業者が循環型社会の形成に向けた取組に参画できるよう必要な基盤とルールを整備します。

2 PDCA サイクルによる計画の進行管理

本計画で掲げた施策を効果的に推進するために、“PDCA サイクル”に基づき計画の進行管理を行います。各個別施策の取組状況を毎年度、把握し、進捗管理を行うとともに、概ね5年を目途に、評価指標による計画の評価を行います。



■PDCA サイクルの内容

| | 毎年度の進捗管理 | 中間評価 |
|---------|---|--|
| 把握内容 | 【評価指標の状況】 ①1人1日当たり総排出量 ②1人1日当たり家庭系ごみ排出量 (資源となるもの除く) ③事業系ごみ排出量 ④資源回収率 ⑥本市の一般廃棄物処理に伴う温室効果ガス排出量 【施策の取組状況】 個別施策の取組状況を把握 | 【計画目標】 ①1人1日当たり総排出量 ②1人1日当たり家庭系ごみ排出量 (資源となるもの除く) ③事業系ごみ排出量 ④資源回収率 ⑤最終処分場の残余年数 ⑥本市の一般廃棄物処理に伴う温室効果ガス排出量 ⑦ごみ処理に関する市民満足度 ⑧3Rへの市民の参加度・協力度 |
| 評価方法 | 施策の取組状況及び評価指標の状況を把握 | 概ね5年に1回を目途に、計画目標に対する評価指標の達成状況を評価(組成分析や市民アンケート調査等を実施) |
| 改善方法 | 施策の見直しの検討(必要に応じて基本計画の改定を検討) | |
| 取組状況の公表 | 清掃事業概要・ホームページ等での公表 定期的に廃棄物処理運営審議会で報告 | |